



日本触媒

2026年3月期 第2四半期（中間期） 決算説明資料

2025年11月11日

株式会社日本触媒

代表取締役社長 野田 和宏

I. 2025年度上期 実績

II. 2025年度通期 予想

III. 事業戦略と事業トピックス

IV. 株主還元

参考資料

用語解説	
AA	アクリル酸
AES	アクリル酸エステル
SAP	高吸水性樹脂
EO	酸化工チレン
セグメント利益	「営業利益」 + 「持分法による投資損益」

2025年度上期実績【対前年 減収・減益】

売上収益	2,002億円	(▲67億円)
営業利益	90億円	(▲14億円)
セグメント利益*1	96億円	(▲26億円)
税引前中間利益	108億円	(▲16億円)
中間利益*2	76億円	(▲13億円)

全体では対前年減収減益

ソリューションズ事業は減損の影響を除くと増収増益

- 原料価格下落によるスプレッド拡大
- エレクトロニクス材料、SAPの数量が増加
- 販管費の増加や在庫評価差益の減少
- 持分法適用会社での減損実施

2025年度通期予想（11/7修正値）【対前年 減収・減益】

売上収益	4,050億円	(▲43億円)
営業利益	180億円	(▲11億円)
セグメント利益*1	197億円	(▲34億円)
税引前当期利益	210億円	(▲22億円)
当期利益*2	150億円	(▲24億円)

【対当初予想】

(+0億円)
(+10億円)
(+4億円)
(+10億円)
(+0億円)

参考：当初予想（5/13公表値）

売上収益	4,050億円
営業利益	170億円
セグメント利益*1	193億円
税引前当期利益	200億円
当期利益*2	150億円

*1：セグメント利益：「営業利益」＋「持分法による投資損益」

*2：中間利益、当期利益は、「親会社の所有者に帰属する中間利益」、「親会社の所有者に帰属する当期利益」を指す

I . 2025年度上期 実績

業績の概要

(億円)	FY2024	FY2025	増減	増減率
	上期	上期		
	実績	実績		
売上収益	2,069	2,002	▲ 67	▲3.2%
営業利益	105	90	▲ 14	▲13.8%
(利益率)	5.1%	4.5%	▲0.6p	-
持分法による投資損益	17	6	▲ 11	▲66.0%
セグメント利益 ^{*1}	122	96	▲ 26	▲21.2%
税引前中間利益	124	108	▲ 16	▲13.1%
中間利益 ^{*2}	89	76	▲ 13	▲14.7%
ROE	4.7%	4.0%	▲0.7p	-
ROA	4.7%	4.0%	▲0.7p	-
ROIC ^{*3}	4.3%	3.2%	▲1.1p	-
ナフサ価格 (円/kL)	78,000	64,800	▲ 13,200	▲16.9%
円/ドル	153	146	▲ 7	▲4.4%
円/ユーロ	166	168	+2	+1.2%

*1：セグメント利益：「営業利益」＋「持分法による投資損益」

*2：中間利益は、「親会社の所有者に帰属する中間利益」を指す

*3：ROIC＝（税引後営業利益＋持分法による投資損益）÷（有利子負債＋株主資本）

セグメント別売上・利益

事業領域 (億円)	FY2024	FY2025	増減	増減率
	上期	上期		
	実績	実績		
AA・SAP	1,122	1,096	▲ 26	▲2.3%
EO他	373	301	▲ 72	▲19.3%
マテリアルズ事業 合計	1,495	1,397	▲ 98	▲6.6%
スペシャリティ	257	240	▲ 17	▲6.5%
エレクトロニクス	104	125	+22	+20.8%
その他 ^{*1}	214	240	+27	+12.5%
ソリューションズ事業 合計	574	605	+31	+5.5%
売上収益 合計	2,069	2,002	▲ 67	▲3.2%
マテリアルズ 事業	91	65	▲ 27	▲29.2%
ソリューションズ 事業	27	27	▲ 0	▲0.5%
全社共通	3	4	+1	+26.9%
セグメント利益 合計	122	96	▲ 26	▲21.2%

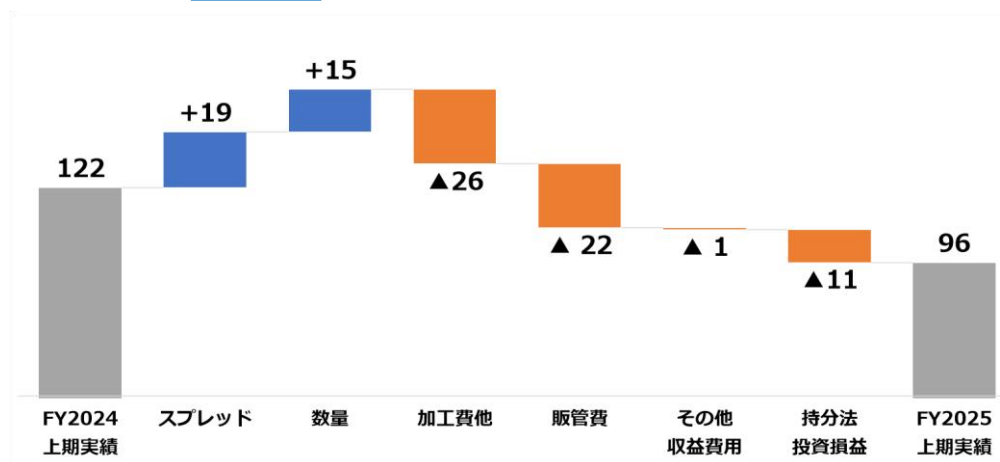
*1：コンストラクション、エネルギー（電池、水素）、環境触媒、ハウスホールド、健康・医療 等

全社 利益増減分析

- ・ スプレッドの拡大や販売数量の増加はあるものの、全社ではマテリアルズの収益悪化により減益
- ・ 特に加工費や販管費の増加による影響が大きい

(内訳)

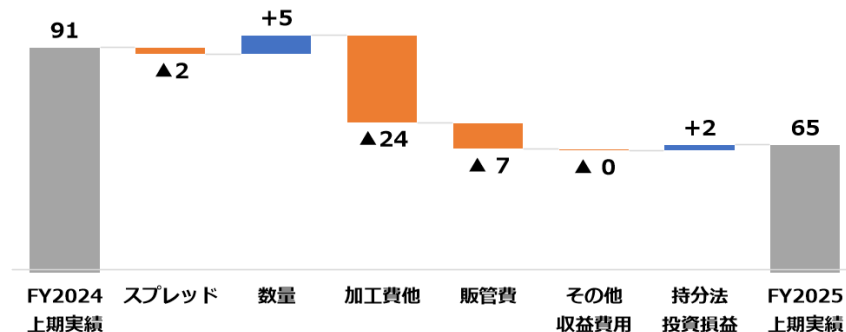
(億円)	セグメント利益		利益差	スプレッド			数量	加工費他		販管費	その他 収益費用	持分法 投資損益
	FY2024 上期実績	FY2025 上期実績			売価	変動費			在庫評価			
全社	122	96	▲ 26	+19	▲ 100	+119	+15	▲ 26	▲ 21	▲ 22	▲ 1	▲ 11



マテリアルズ 利益増減分析

(内訳)

(億円)	セグメント利益		利益差	スプレッド			数量	加工費他		販管費	その他 収益費用	持分法 投資損益
	FY2024 上期実績	FY2025 上期実績			売価	変動費			在庫評価			
マテリアルズ	91	65	▲ 27	▲ 2	▲ 110	+108	+5	▲ 24	▲ 12	▲ 7	▲ 0	+2



スプレッド

- ・ SAP :
原料価格下落によるスプレッド拡大
- ・ 特殊エステル :
円高や海外市況の低迷継続

数量

- ・ SAP :
新興国での拡販により数量増
- ・ 特殊エステル :
需要低迷・中国品の安値攻勢により数量減

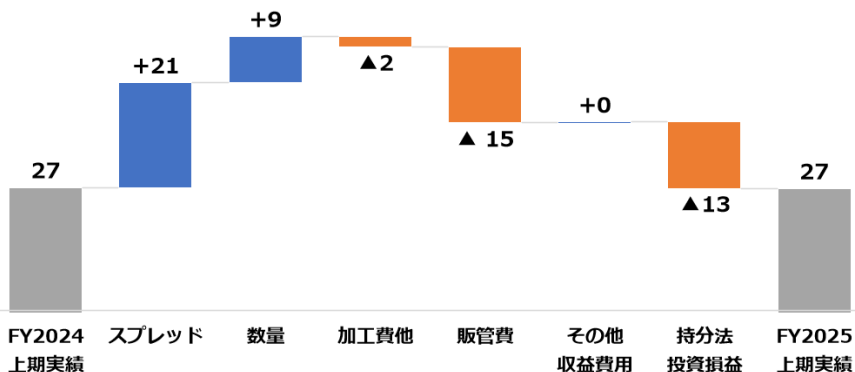
加工費 販管費他

- ・ 加工費他 :
在庫評価差益の減少、製造固定費の増加 (海外)
- ・ 販管費 :
SAP数量増に伴う運搬費増加

ソリューションズ 利益増減分析

(内訳)

(億円)	セグメント利益		利益差	スプレッド			数量	加工費他		販管費	その他 収益費用	持分法 投資損益
	FY2024 上期実績	FY2025 上期実績			売価	変動費			在庫評価			
ソリューションズ	27	27	▲ 0	+21	+10	+11	+9	▲ 2	▲ 9	▲ 15	+0	▲ 13



スプレッド

- ・スペシャリティ：
界面活性剤等のスプレッド拡大
- ・エレクトロニクス：
ディスプレイ関連材料の製品構成の良化

数量

- ・エレクトロニクス：
ディスプレイ関連材料の中国向け拡販
- ・その他：
イーテック子会社化に伴う数量増

加工費 販管費他

- ・販管費：
研究費増加やイーテック子会社化に伴う増加
- ・加工費他：
在庫評価差益の減少
- ・持分法投資損益：
持分法適用会社での減損実施

Ⅱ. 2025年度通期 予想

業績の概要

(億円)	FY2024	FY2025	FY2025	増減	増減
	通期	通期	通期	FY24実績	FY25当初
	実績	当初予想	修正予想	/FY25修正	/FY25修正
売上収益	4,093	4,050	4,050	▲ 43	+0
営業利益	191	170	180	▲ 11	+10
(利益率)	4.7%	4.2%	4.4%	▲0.2p	+0.2p
持分法による投資損益	40	23	17	▲ 23	▲ 6
セグメント利益 ^{*1}	231	193	197	▲ 34	+4
税引前利益	232	200	210	▲ 22	+10
当期利益 ^{*2}	174	150	150	▲ 24	+0
ROE	4.5%	4.0%	3.9%	▲0.6p	▲0.1p
ROA	4.3%	3.6%	3.8%	▲0.5p	+0.2p
ROIC ^{*3}	4.3%	3.5%	3.3%	▲1.0p	▲0.2p
ナフサ価格 (円/kL)	75,600	60,000	62,900	▲ 12,700	+2,900
円/ドル	153	140	147	▲ 6	+7
円/ユーロ	164	160	171	+7	+11

*1：セグメント利益：「営業利益」＋「持分法による投資損益」

*2：当期利益は、「親会社の所有者に帰属する当期利益」を指す

*3：ROIC＝（税引後営業利益＋持分法による投資損益）÷（有利子負債＋株主資本）

セグメント別売上・利益

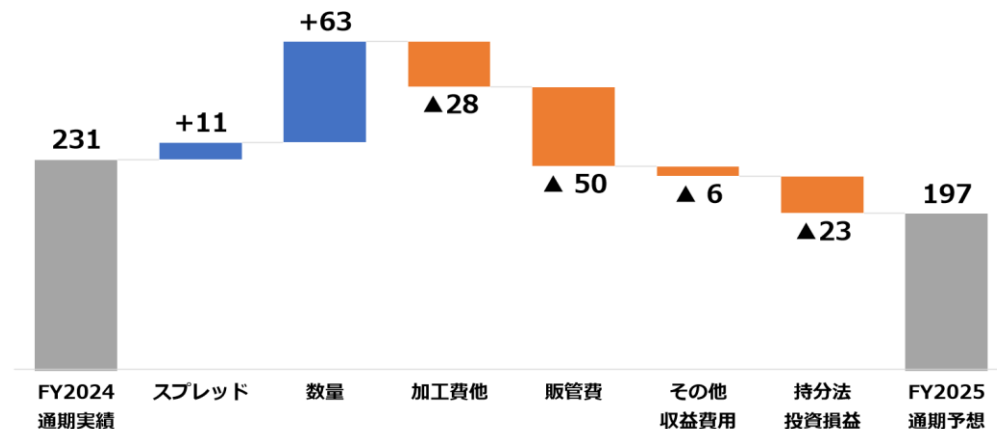
事業領域 (億円)	FY2024	FY2025	FY2025	増減	増減
	通期	通期	通期	FY24実績	FY25当初
	実績	当初予想	修正予想	/FY25修正	/FY25修正
AA・SAP	2,221	2,124	2,183	▲ 38	+58
EO他	720	666	627	▲ 93	▲ 38
マテリアルズ事業 合計	2,941	2,790	2,810	▲ 131	+20
スペシャリティ	516	514	500	▲ 16	▲ 14
エレクトロニクス	209	237	255	+46	+18
その他 ^{*1}	428	509	485	+57	▲ 23
ソリューションズ事業 合計	1,153	1,260	1,240	+87	▲ 20
売上収益 合計	4,093	4,050	4,050	▲ 43	+0
マテリアルズ 事業	159	124	122	▲ 37	▲ 2
ソリューションズ 事業	61	62	67	+6	+5
全社共通	10	7	8	▲ 2	+1
セグメント利益 合計	231	193	197	▲ 34	+4

*1：コンストラクション、エネルギー（電池、水素）、環境触媒、ハウスホールド、健康・医療 等

全社 利益増減分析

- ・両セグメントで販売数量が増加するものの、マテリアルズの海外市況低迷
- ・販管費や加工費の増加、持分法適用会社での減損実施等により全体では減益

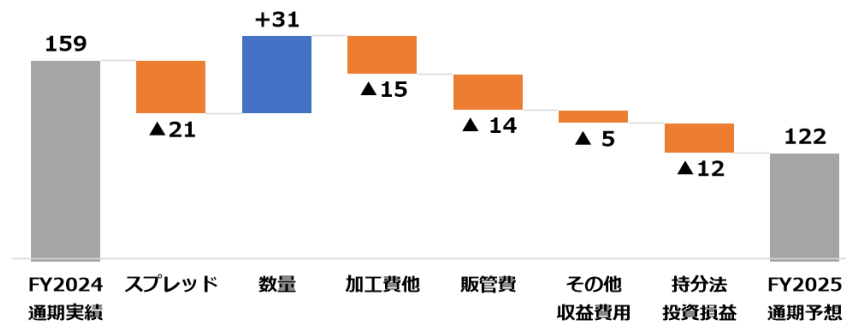
セグメント利益			利益差	(内訳)			数量	加工費他		販管費	その他 収益費用	持分法 投資損益
(億円)	FY2024 通期実績	FY2025 通期予想		スプレッド	売価	変動費		在庫評価				
全社	231	197	▲ 34	+11	▲ 228	+239	+63	▲ 28	▲ 11	▲ 50	▲ 6	▲ 23



マテリアルズ 利益増減分析

(内訳)

(億円)	セグメント利益		利益差	スプレッド			数量	加工費他		販管費	その他 収益費用	持分法 投資損益
	FY2024 通期実績	FY2025 通期予想			売価	変動費			在庫評価			
マテリアルズ	159	122	▲ 37	▲ 21	▲ 228	+207	+31	▲ 15	▲ 4	▲ 14	▲ 5	▲ 12



スプレッド

- ・ 特殊エステル、AA・AES :
海外市況の低迷継続

数量

- ・ SAP :
主に新興国での拡販により数量増

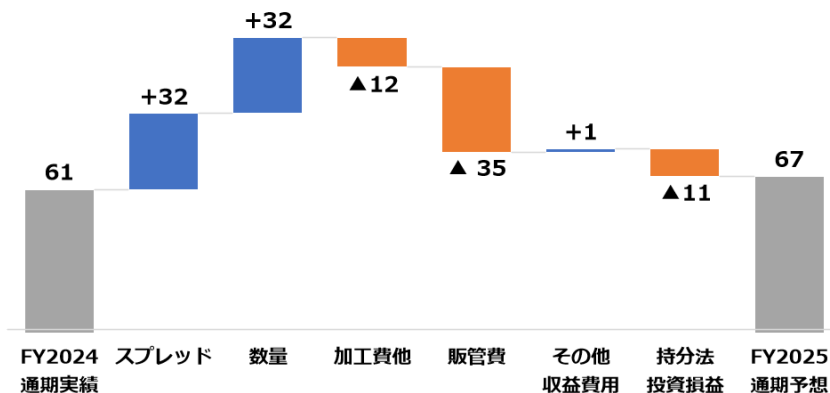
加工費 販管費他

- ・ 加工費他 :
製造固定費の増加 (海外)、在庫評価差損の拡大
- ・ 持分法投資損益 :
市況下落による損益の悪化

ソリューションズ 利益増減分析

(内訳)

(億円)	セグメント利益		利益差	スプレッド			数量	加工費他		販管費	その他 収益費用	持分法 投資損益
	FY2024 通期実績	FY2025 通期予想			売価	変動費			在庫評価			
ソリューションズ	61	67	+6	+32	+0	+31	+32	▲ 12	▲ 7	▲ 35	+1	▲ 11



スプレッド

- ・スペシャリティ：
各種アミン類、界面活性剤等のスプレッド拡大
- ・その他：
リチウムイオン電池材料の製品構成差

数量

- ・エレクトロニクス：
ディスプレイ関連材料の中国向け拡販
- ・その他：
イーテック子会社化に伴う数量増

加工費 販管費他

- ・販管費：
研究費増加やイーテック子会社化に伴う増加
- ・加工費他：
在庫評価差益の減少
- ・持分法投資損益：
持分法適用会社での減損実施

事業領域別セグメント利益 <上期・下期別 推移>

事業領域 (億円)	FY2024			FY2025		
	上期	下期	通期	上期	下期予想	通期予想
AA・SAP	61	34	95	52	39	91
EO他	30	34	64	13	18	31
マテリアルズ事業	91	68	159	65	57	122
スペシャリティ	25	27	53	25	23	48
エレクトロニクス	15	22	36	28	22	51
その他	▲ 12	▲ 15	▲ 28	▲ 26	▲ 6	▲ 32
ソリューションズ事業	27	34	61	27	40	67
全社共通	3	7	10	4	4	8
セグメント利益 全社合計	122	109	231	96	101	197

Ⅲ. 事業戦略と事業トピックス

ソリューションズ：スペシャリティ

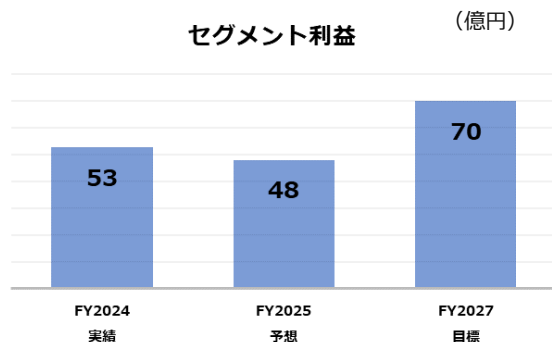
(億円)

【事業の状況】

- 水処理剤用途は堅調
- 界面活性剤（台湾子会社）は汎用品で苦戦

	売上収益			セグメント利益		
	FY2024	FY2025	差異	FY2024	FY2025	差異
上期	257	240	▲ 17	25	25	▲ 0
通期	516	500	▲ 16	53	48	▲ 5

■ 年度別損益推移



主な製品	市場環境	2027年度に向けた取り組み
各種アミン類	排水規制強化による水処理関連需要伸長 CO2吸収用途は1～2年立ち上がり遅れ	水処理需要増に対応する生産体制強化 新規開発品の市場開拓、拡販の実施
界面活性剤	汎用品市場では中国製品がアジアに流入	高機能用途(半導体)対応製品、設備の拡充
水系架橋剤	環境規制の厳格化によるVOCフリーニーズ増	低温硬化性技術による更なる環境負荷低減ニーズへの対応

ソリューションズ：エレクトロニクス

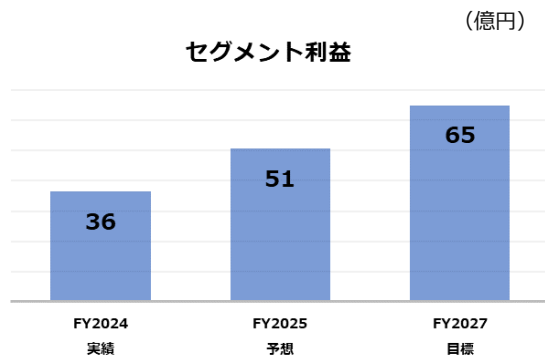
(億円)

【事業の状況】

- 液晶ディスプレイ関連製品（光学フィルム用アクリル樹脂、微粒子等）の販売数量増加

	売上収益			セグメント利益		
	FY2024	FY2025	差異	FY2024	FY2025	差異
上期	104	125	+22	15	28	+14
通期	209	255	+46	36	51	+14

■ 年度別損益推移



主な製品	市場環境	2027年度に向けた取り組み
光学フィルム用アクリル樹脂	液晶ディスプレイ市場の中国シフトが継続 TV用パネルの大型高精細化により需要好調	高付加価値製品の拡販
微粒子	ディスプレイ、半導体用途等で需要拡大	半導体市場での拡販 微粒子製造設備の能力増強
ヨウ素	引き続き市況は堅調に推移	新規坑井開発によるヨウ素の生産量増

ソリューションズ：エレクトロニクス①

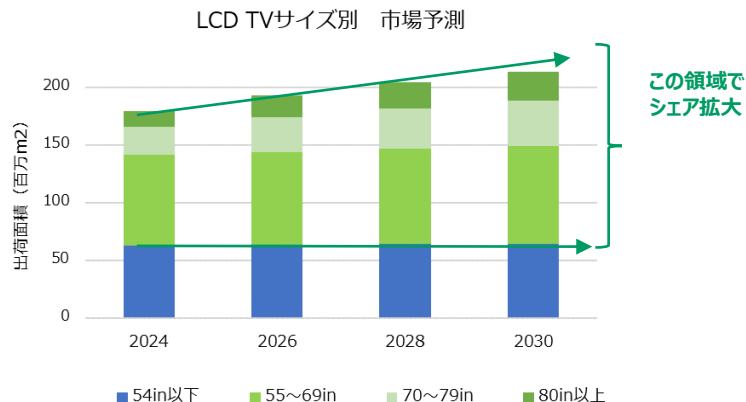
光学フィルム用アクリル樹脂のターゲット市場

■ 光学フィルム用アクリル樹脂 新グレードの採用拡大

- ・大型化（フィルムの広幅化）に好適な樹脂
- ・高精細に好適な位相差フィルム用樹脂

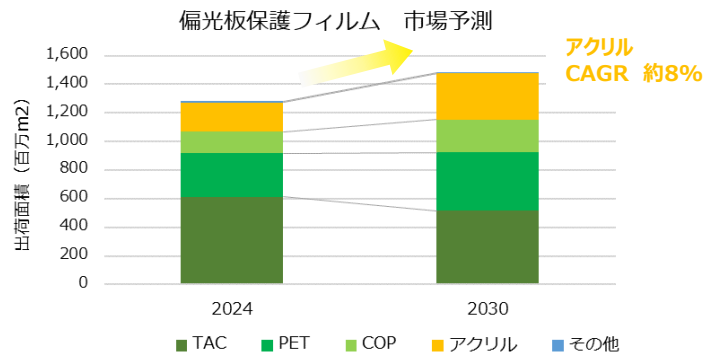
● TV市場／液晶パネル出荷面積予測（サイズ別）

- ・55インチ以上のモデルは、毎年増加傾向が続く見込み



● 偏光板保護フィルム市場／出荷面積予測（PVA保護フィルム+位相差フィルム）

- ・パネルサイズ大型化に伴い、フィルム面積も増加傾向
- ・高精細化に向け、非TAC化が進行



ソリューションズ：エレクトロニクス②

シリカ微粒子のターゲット用途

■ターゲット用途：半導体用UF、SR

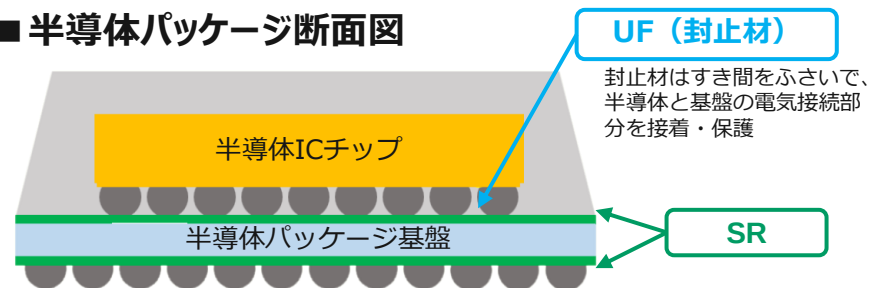
UF（アンダーフィル）

半導体パッケージの信頼性確保のため
樹脂の熱膨張低減が必要

SR（ソルダーレジスト）

高解像度化にシリカ微粒子の使用が必須

■半導体パッケージ断面図



キー技術	シリカ微粒子の強み・勝ち筋
粗大粒子レス	小粒子径と狭粒度の両立を武器にアンダーフィル材で採用拡大中
高解像度	先端材料（層間絶縁材料、ソルダーレジスト）の性能向上にシリカ微粒子が寄与

- 微粒子生産設備の能力増強
来年度商業運転開始

ソリューションズ：その他

(億円)

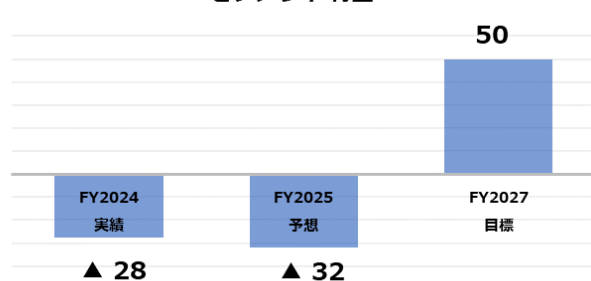
【事業の状況】

- 持分法適用会社(ユミコア・ショクバイ)で減損損失計上も、その他事業はほぼ計画どおり
(コンストラクション) イーテック社を子会社化
(エネルギー電池) 中国で需要が旺盛、増設計画通り進行中
(健康・医療) 受託案件数増加、設備増強を決定

	売上収益			セグメント利益		
	FY2024	FY2025	差異	FY2024	FY2025	差異
上期	214	240	+27	▲ 12	▲ 26	▲ 13
通期	428	485	+57	▲ 28	▲ 32	▲ 4

■ 年度別損益推移

セグメント利益 (億円)



主な事業領域	市場環境	2027年度に向けた取り組み
コンストラクション	環境負荷低減ニーズの拡大	産学連携による開発品上市 イーテック社買収によるシナジー加速、北米事業拡大
エネルギー（電池）	EV, LIB市場の競争は激しいものの、当社電解質の需要は好調	中国で生産規模の拡大 日本（北九州市）でも新工場を計画
健康・医療	中分子医薬品（核酸／ペプチド）は高い成長率を維持	大量製造設備の導入 M&Aや他社アライアンスでの成長戦略の検討

マテリアルズ：AA・SAP

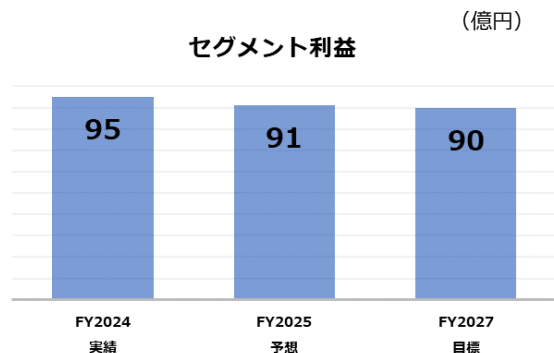
(億円)

【事業の状況】

- 中国製品の影響による市況の低迷継続
- SAPの新興国向け拡販による販売数量増

	売上収益			セグメント利益		
	FY2024	FY2025	差異	FY2024	FY2025	差異
上期	1,122	1,096	▲ 26	61	52	▲ 9
通期	2,221	2,183	▲ 38	95	91	▲ 4

■ 年度別損益推移



主な製品	市場環境	2027年度に向けた取り組み
AA・AES	中国の供給過剰による競争激化により、アジア市況は低迷継続	グループ全体での生産最適化 インドや東南アジア需要の取り込み
SAP	紙おむつ市場は今後もグローバルで成長継続 特にグローバルサウス地域で高い成長率	インドネシアの増設5万トン グローバルサウス市場への販売強化

IV. 株主還元

株主還元

2024年度～2027年度までの株主還元方針

- ・ 配当性向**100%** または **DOE※ 2.0%** のいずれか大きい金額を配当する
- ・ 政策保有株式縮減等で得た資金で、**自己株式を取得**する

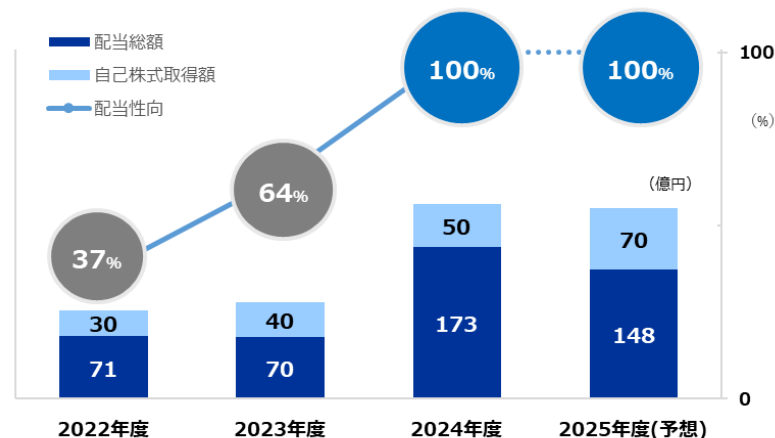
※DOE：株主資本配当率

■ 1株当たり配当金

(配当金:円)	FY2023	FY2024	FY2025(予想)
中間	22.5	54.0	50.0
期末	22.5	60.0	50.0
年間	45.0	114.0	100.0

* 2024年4月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行いました。
上記記載の配当金は分割後の金額で表示しています。

■ 配当性向・総還元額



DOE	2.0%	1.9%	4.5%	約4%
総還元性向	52.2%	99.7%	128.2%	約146%

◆ 2025年度の総還元性向（予想）は前年以上

2027年度に向けさらに大幅な増加を目指す

参考資料

事業領域

マテリアルズ

AA・SAP

EO他

ソリューションズ

スペシャリティ

エレクトロニクス

その他

コンストラクション

エネルギー（電池・水素）
環境触媒

ハウスホールド
健康・医療 他

主な製品

- アクリル酸・アクリル酸エステル
- 高吸水性樹脂

- 酸化エチレン ● エチレングリコール
- 有機酸 ● 特殊エステル ● プロセス触媒 他

- 各種アミン類 ● 水系架橋剤 ● 界面活性剤
- （主な子会社：日本乳化剤・中日合成）

- 光学フィルム用樹脂 ● レジスト材料
- 微粒子 ● 色素 ● ヨウ素
- （主な子会社：日宝化学）

- コンクリート混和剤用ポリマー ● エマルション
- （主な子会社：イーテック）

- LIB^{*1}用電解質 ● 電解質シート ● アンモニア分解触媒
- 排ガス処理触媒、排水処理触媒

- 洗剤原料 ● 核酸/ペプチドCDMO^{*2}

*1：リチウムイオン電池

*2：医薬品開発製造受託機関、Contract Development and Manufacturing Organizationの略語

連結財政状態計算書

(億円)

	2025年 3月末	2025年 9月末	増減
現金及び現金同等物	546	459	▲ 87
営業債権	965	924	▲ 41
棚卸資産	843	840	▲ 3
その他	201	159	▲ 42
流動資産合計	2,555	2,381	▲ 174
有形固定資産	1,942	2,010	+67
のれん	-	35	+35
無形資産	45	67	+22
持分法で会計処理されている投資	300	281	▲ 19
その他	594	586	▲ 8
非流動資産合計	2,882	2,979	+97
資産合計	5,437	5,360	▲ 77

	2025年 3月末	2025年 9月末	増減
営業債務	548	496	▲ 52
借入金	414	437	+23
その他	549	527	▲ 22
負債合計	1,511	1,460	▲ 52
資本金	250	250	-
自己株式	▲ 73	▲ 124	▲ 51
利益剰余金	3,088	3,075	▲ 13
その他	565	605	+40
非支配持分	95	94	▲ 1
資本合計	3,925	3,900	▲ 25
負債及び資本合計	5,437	5,360	▲ 77

D/Eレシオ (倍)	0.12	0.13
有利子負債	466	483

連結キャッシュ・フロー

(億円)

	FY2024 上期実績	FY2025 上期実績	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	230	255	+26
税引前中間利益	124	108	▲ 16
減価償却費及び償却費	158	159	+1
営業債権債務・棚卸資産の増減	▲ 43	16	+59
その他	▲ 10	▲ 28	▲ 18
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 76	▲ 207	▲ 131
フリーキャッシュ・フロー	154	48	▲ 106
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 143	▲ 135	+8
借入金の増減額	▲ 51	23	+74
自己株式の取得による支出	▲ 41	▲ 52	▲ 11
配当金の支払額	▲ 35	▲ 91	▲ 56
その他	▲ 16	▲ 15	+1
現金及び現金同等物の中間期末残高	550	459	▲ 92

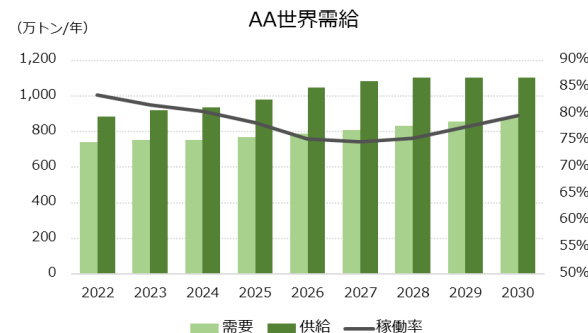
(億円)

項目	FY2023 上期実績	FY2023 通期実績	FY2024 上期実績	FY2024 通期実績	FY2025 上期実績	FY2025 <通期予想>
設備投資	83	168	96	378	191	550
減価償却費及び償却費	160	319	158	316	159	325
研究開発費	77	151	79	157	81	171
EBITDA	266	493	290	561	272	546
有利子負債残高	493	456	387	466	483	698
親会社の所有者に帰属する持分	3,796	3,834	3,815	3,830	3,806	3,782
資産合計	5,404	5,441	5,227	5,437	5,360	5,650
D/Eレシオ (倍)	0.13	0.12	0.10	0.12	0.13	0.18
自己資本比率 (%)	70.2	70.5	73.0	70.5	71.0	66.9
売上高営業利益率 (%)	5.1	4.2	5.1	4.7	4.5	4.4
ROA (%)	3.7	2.9	4.7	4.3	4.0	3.8
ROE (%)	3.7	3.0	4.7	4.5	4.0	3.9
ROIC (%)	3.6	2.9	4.3	4.3	3.2	3.3

【AA】

需要 世界需要 約770万トン（2025年推定）
中期的に年率3%の成長を見込む
（新興国では5%以上の成長を想定）

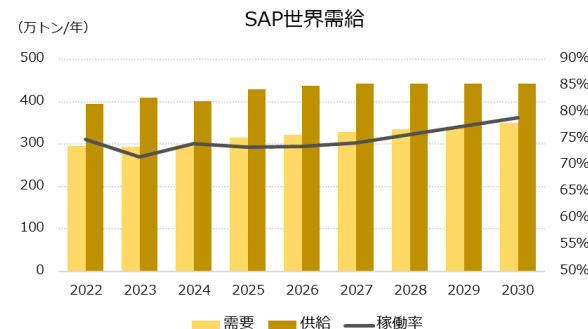
供給 増設/停止計画世界合計（年産能力）
2024年 ▲約 10万トン
2025年 約 120万トン
2026年以降 約 30-50万トン

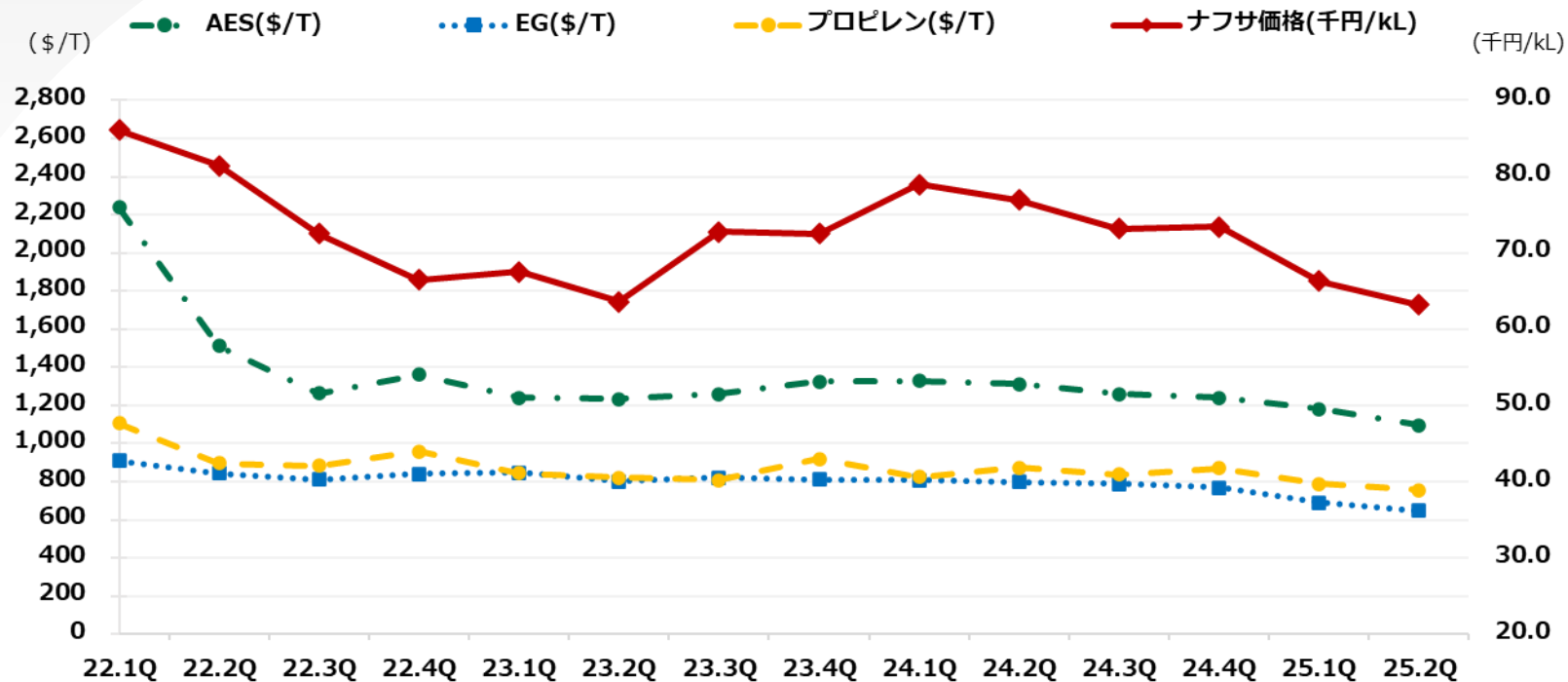


【SAP】

需要 世界需要 約320万トン（2025年推定）
中期的に年率2～3%の成長を見込む
（新興国では4～5%の成長を想定）

供給 増設/停止計画世界合計（年産能力）
2024年 ▲約 10万トン
2025年 約 30万トン
2026年以降 約 10万トン（内、当社5万トン）





為替・海外売上高実績推移

■ 為替

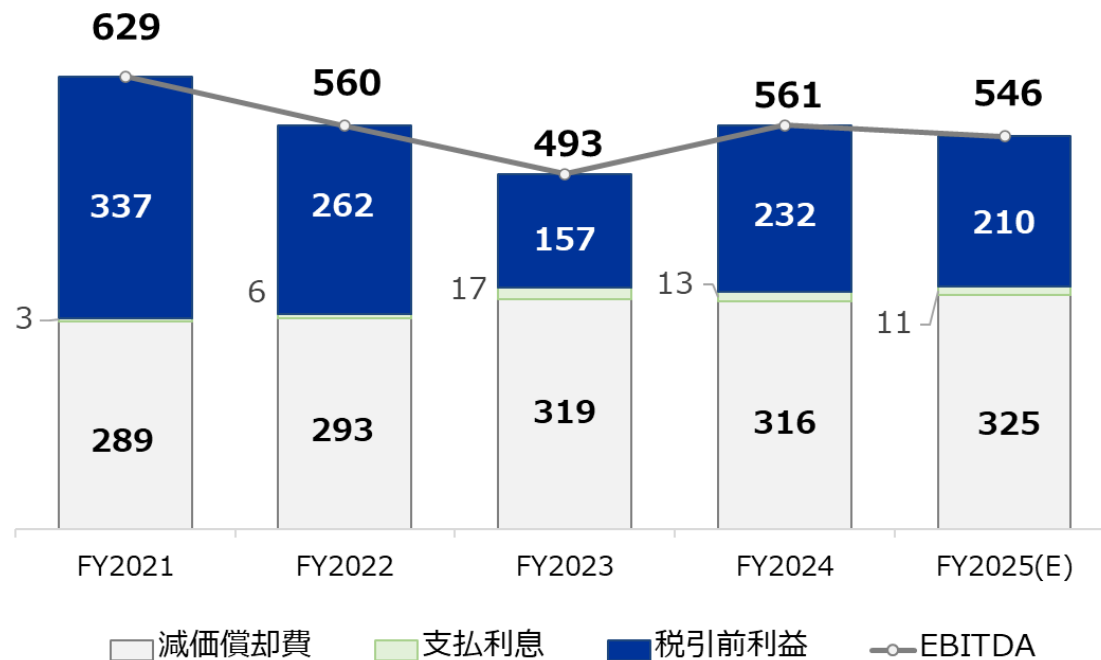
	FY22.1Q	FY22.2Q	FY22.3Q	FY22.4Q	FY23.1Q	FY23.2Q	FY23.3Q	FY23.4Q	FY24.1Q	FY24.2Q	FY24.3Q	FY24.4Q	FY25.1Q	FY25.2Q
円/ドル	130	138	141	132	137	145	148	149	156	150	152	153	145	147
円/ユーロ	138	139	144	142	150	157	159	161	168	164	163	161	164	172

■ 海外売上高

(四半期累計: 億円)		FY22.1Q	FY22.2Q	FY22.3Q	FY22.4Q	FY23.1Q	FY23.2Q	FY23.3Q	FY23.4Q	FY24.1Q	FY24.2Q	FY24.3Q	FY24.4Q	FY25.1Q	FY25.2Q
アジア		301	587	862	1,091	226	467	730	992	281	562	837	1,105	247	495
欧州		203	393	587	744	178	343	488	644	169	325	480	628	158	325
北米		83	171	266	349	93	186	279	384	107	200	298	395	102	201
その他		47	98	141	191	52	102	141	174	34	71	106	149	34	74
海外売上高 (合計)		634	1,249	1,856	2,375	549	1,099	1,639	2,193	592	1,158	1,721	2,277	539	1,095

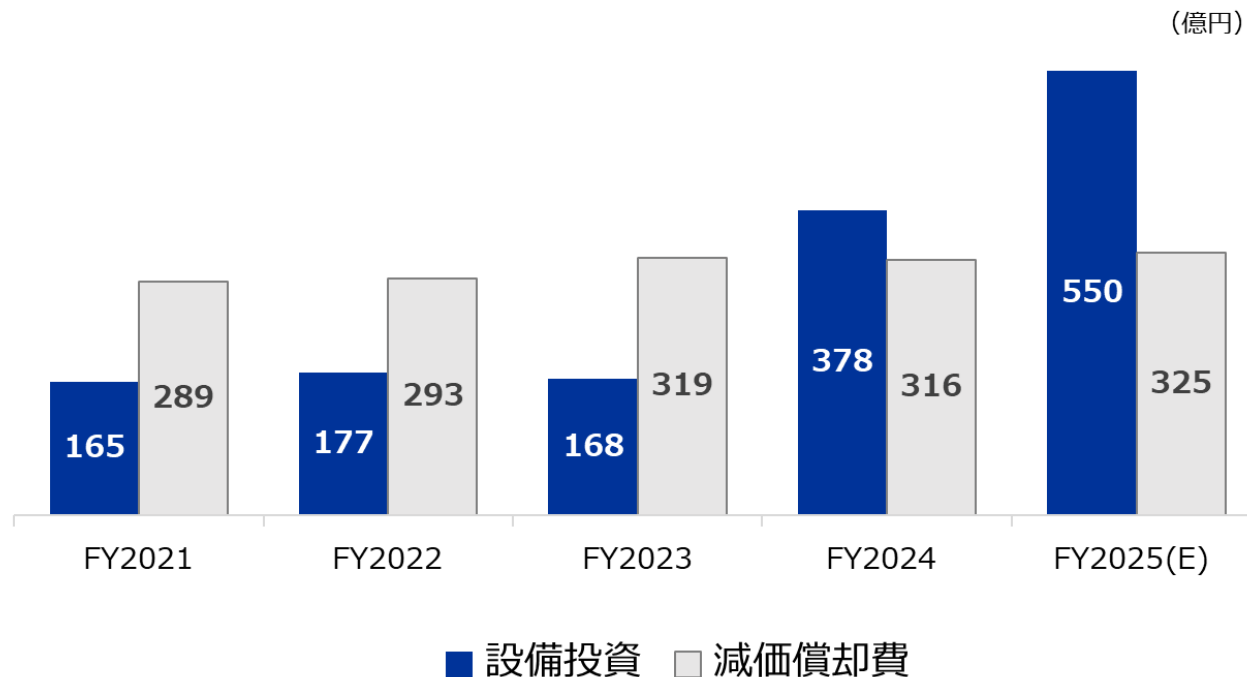
アジア		27.0%	26.7%	26.5%	26.0%	23.2%	23.9%	25.0%	25.3%	26.7%	27.2%	27.2%	27.0%	24.4%	24.7%
欧州		18.2%	17.9%	18.0%	17.7%	18.3%	17.7%	16.7%	16.4%	16.1%	15.7%	15.5%	15.3%	15.6%	16.2%
北米		7.4%	7.8%	8.2%	8.3%	9.6%	9.6%	9.6%	9.8%	10.2%	9.7%	9.7%	9.7%	10.0%	10.1%
その他		4.2%	4.5%	4.3%	4.6%	5.3%	5.3%	4.8%	4.4%	3.3%	3.4%	3.4%	3.6%	3.3%	3.7%
海外売上比率		56.8%	56.9%	57.0%	56.6%	56.4%	56.5%	56.1%	55.9%	56.3%	56.0%	55.8%	55.6%	53.3%	54.7%

(億円)

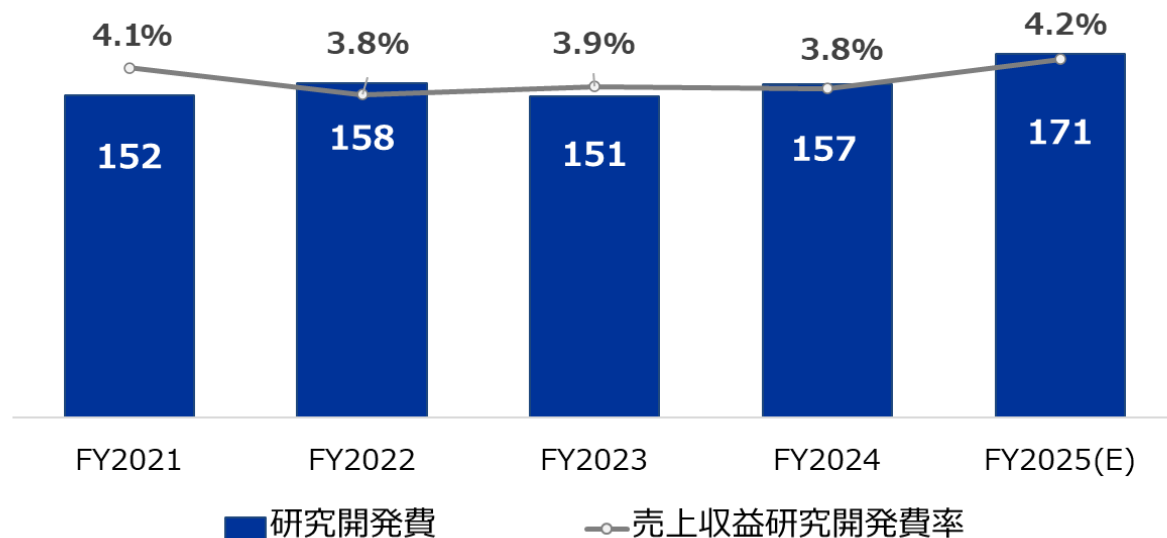


(* EBITDA=税引前利益+減価償却費+支払利息)

設備投資額と減価償却費の推移



(億円)



◆ 2025年度第3四半期 決算発表

2026年2月5日(木) 13:00

この予定は、都合により予告なく変更となる可能性があります。

本資料は、投資判断の参考となる情報提供を目的としているものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。また、記載されている内容は、資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した内容を含んでおり、記載された内容を確認したり、保証するものではありません。実際の業績は、様々な要因により、異なる結果となる場合があります。

お問合せ先：

株式会社日本触媒 コーポレート・コミュニケーション部

E-mail: ns_ir@shokubai.co.jp